

令和6年度 市政に関する意識調査

ふくおかボイス

ウェル ビーイング
～Well-beingを大事にするまちへ～

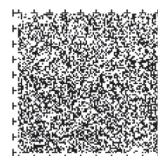
「福岡市の住みやすさ」
「図書館」
「福岡市の保健福祉」について
調査しました

**福岡市は
市民100人のうち**



「Well-being」とは、

身体的・精神的・社会的に良好な状態であることを意味する概念で、
一人ひとりの満足度や充実、幸せなどを表すものです。
福岡市は、これからも、安全・安心で住みやすく、魅力あふれるまち、
多くの人が「Well-being」を感じられるまちを目指していきます。

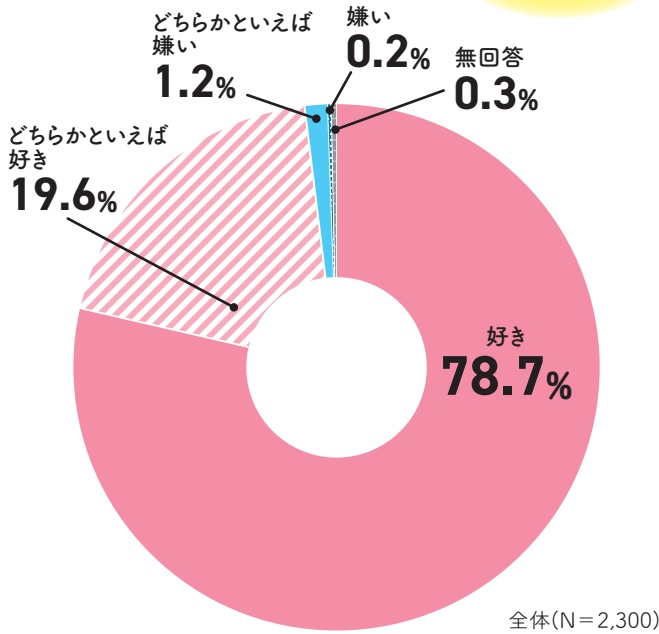


Uni-Voice
音声コード

福岡市の住みやすさについて

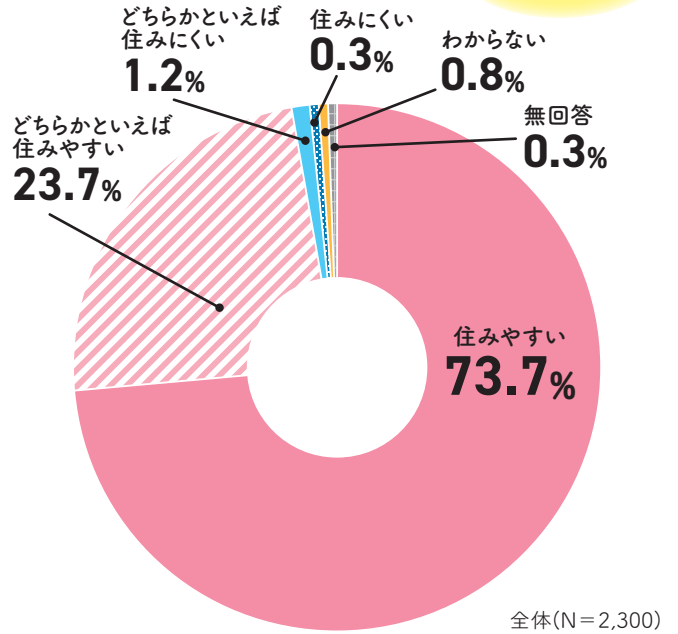
福岡市が好きですか？

『好き』※1と答えた人は **98.3%**



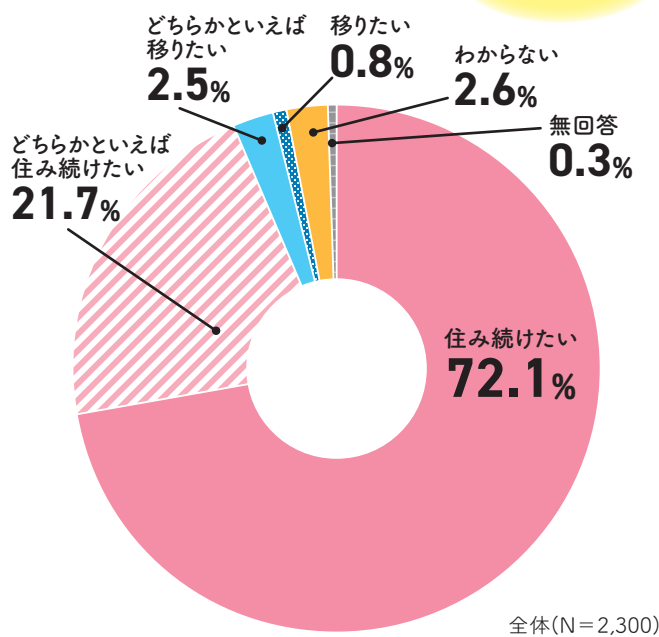
福岡市は住みやすいと思いますか？

『住みやすい』と答えた人は **97.4%**



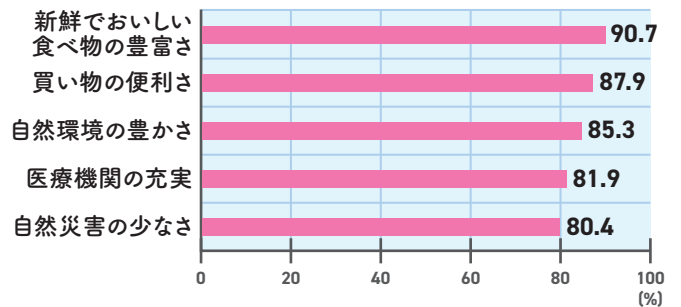
福岡市に住み続けたいと思いますか？

『住み続けたい』と答えた人は **93.8%**

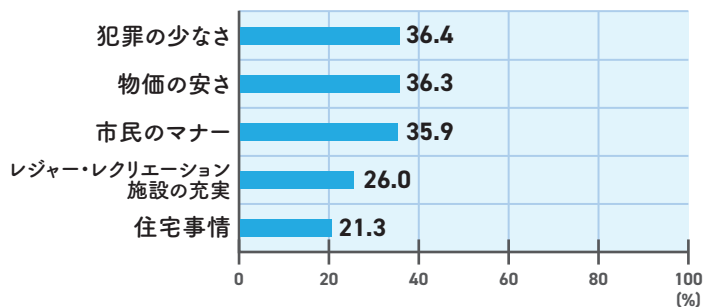


都市環境『満足度』、『不満度』(上位5位)

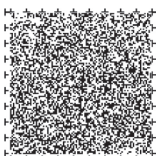
満足度 満足+どちらかといえば満足



不満度 不満+どちらかといえば不満



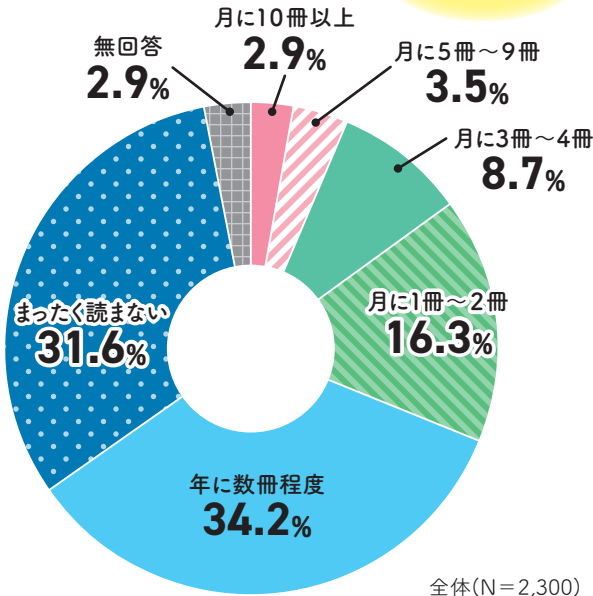
※1『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの。例:『好き』=『好き』+『どちらかといえば好き』



図書館について

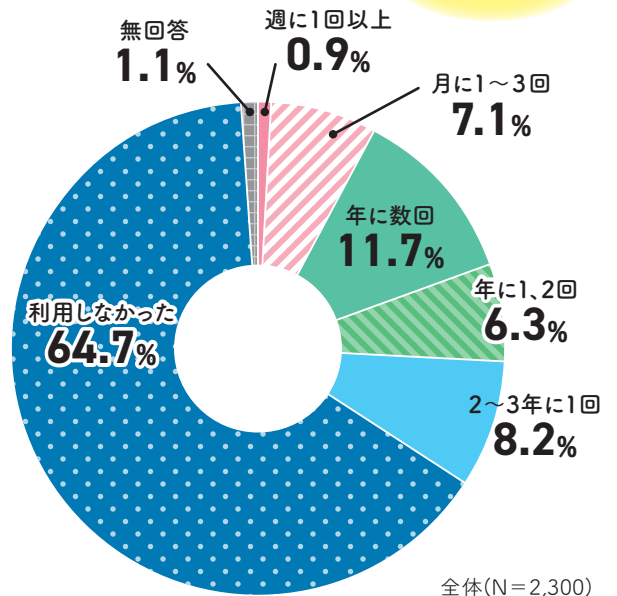
日頃、本（電子書籍は含む。漫画、雑誌は含まない。）を平均何冊ぐらい読みますか？

『年に数冊以上』と答えた人は **65.6%**

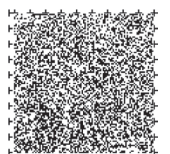
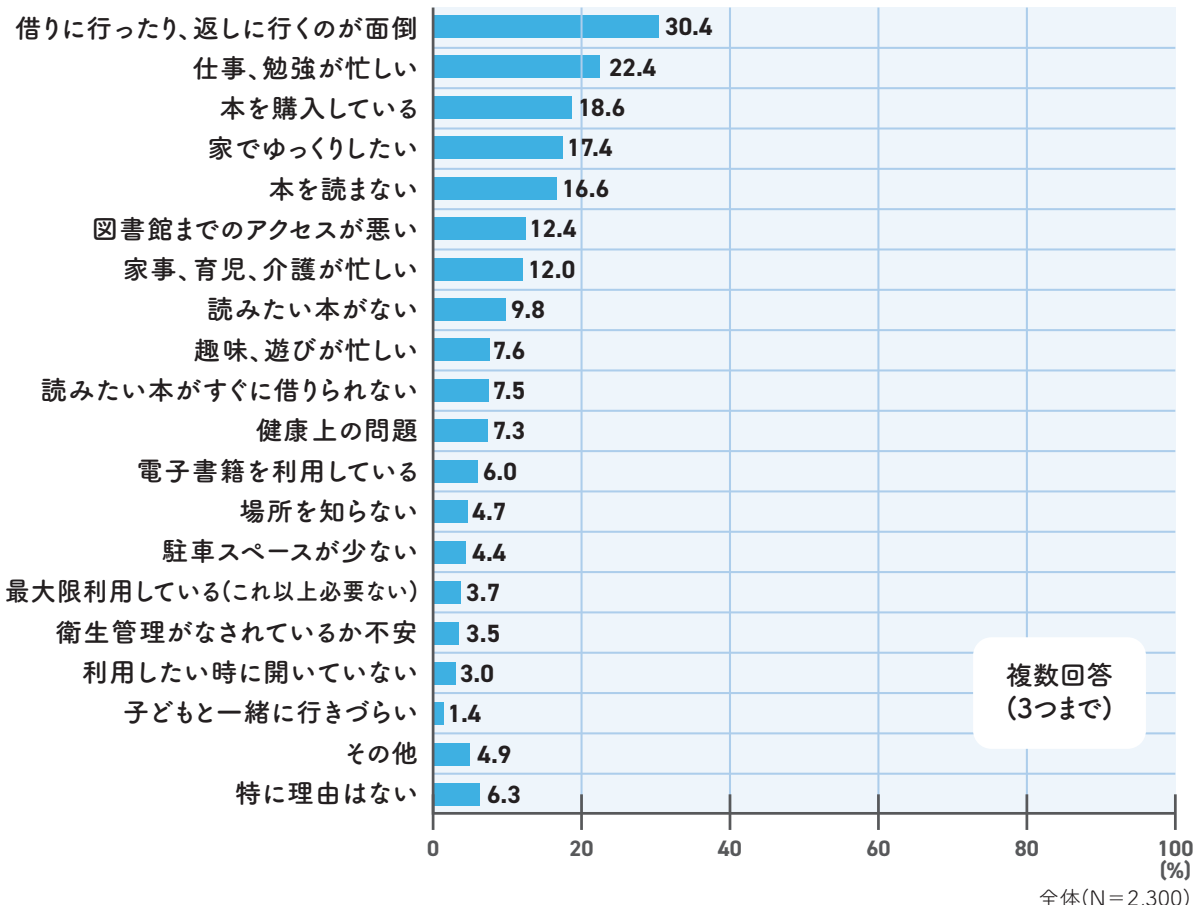


過去3年間に、福岡市立の図書館をどの程度利用しましたか？

過去3年間に『利用した』と答えた人は **34.2%**



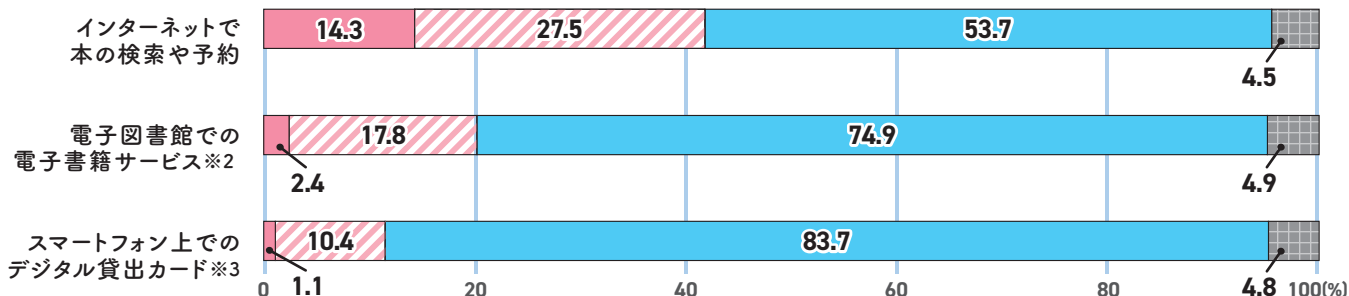
現在の頻度以上に図書館を利用しない理由、利用自体がない理由は？



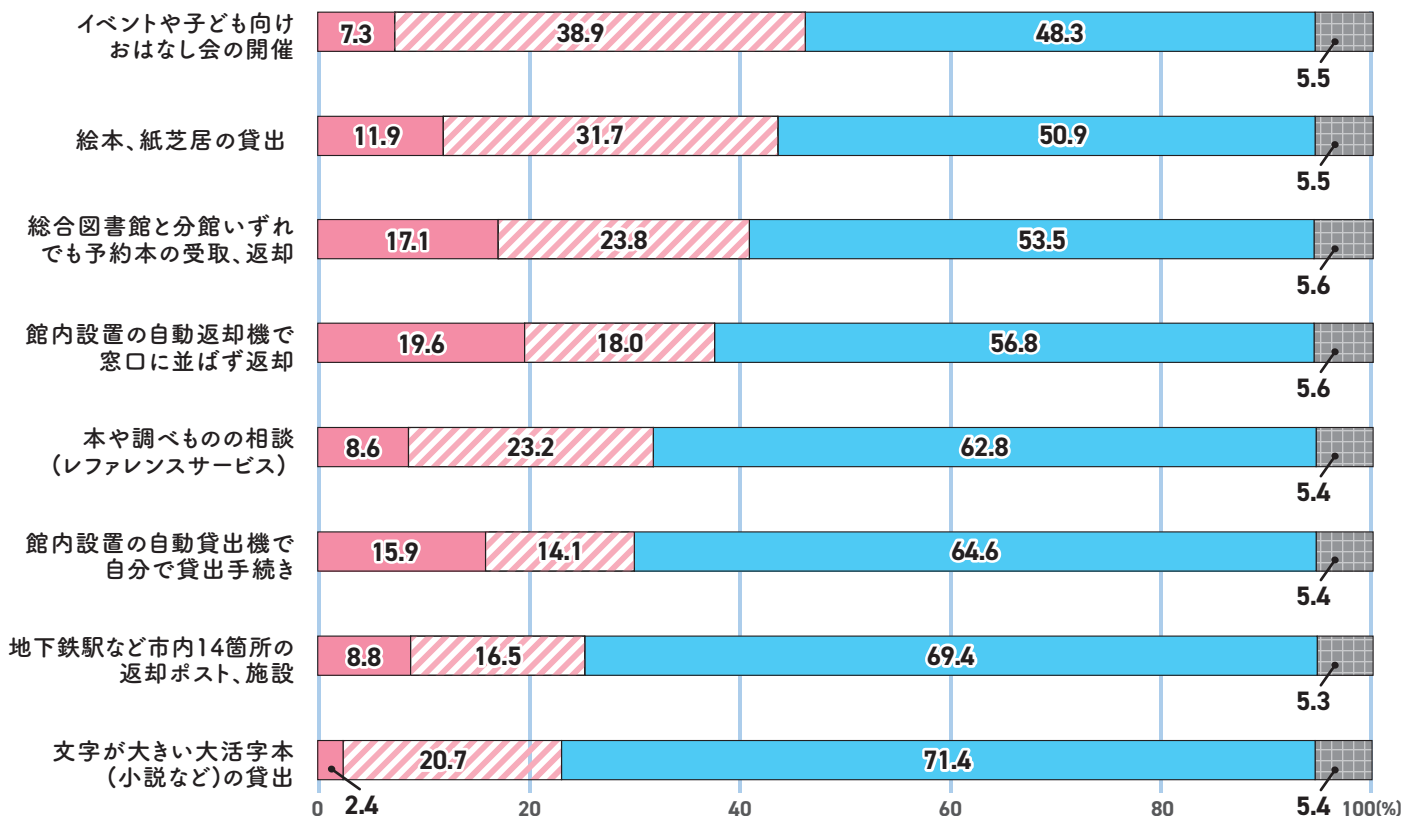
福岡市の図書館で行っているサービスを知っていますか？

■ 知っている、利用したことがある
 ■ 知っているが、利用したことはない
 ■ 知らない
 ■ 無回答

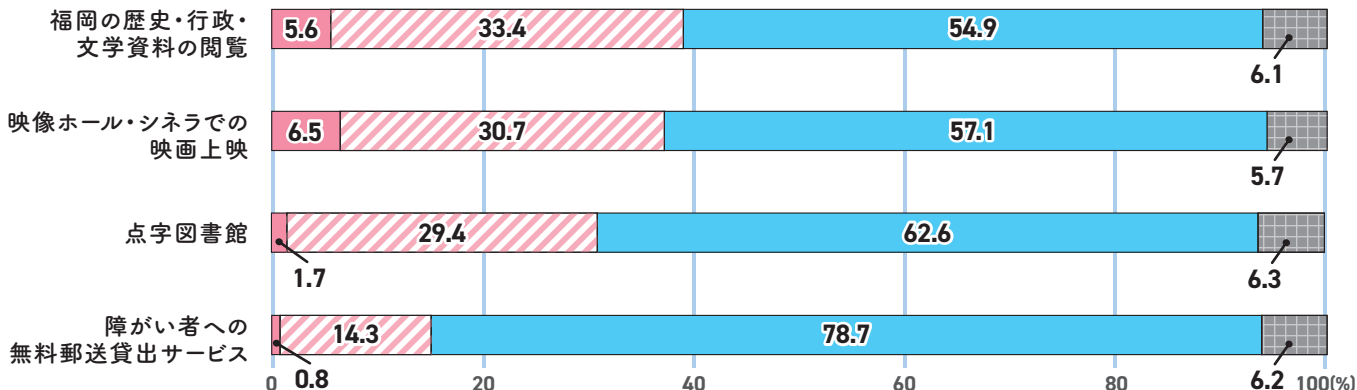
【オンラインサービス】



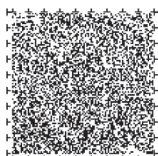
【総合図書館、分館すべて】



【総合図書館のみ】



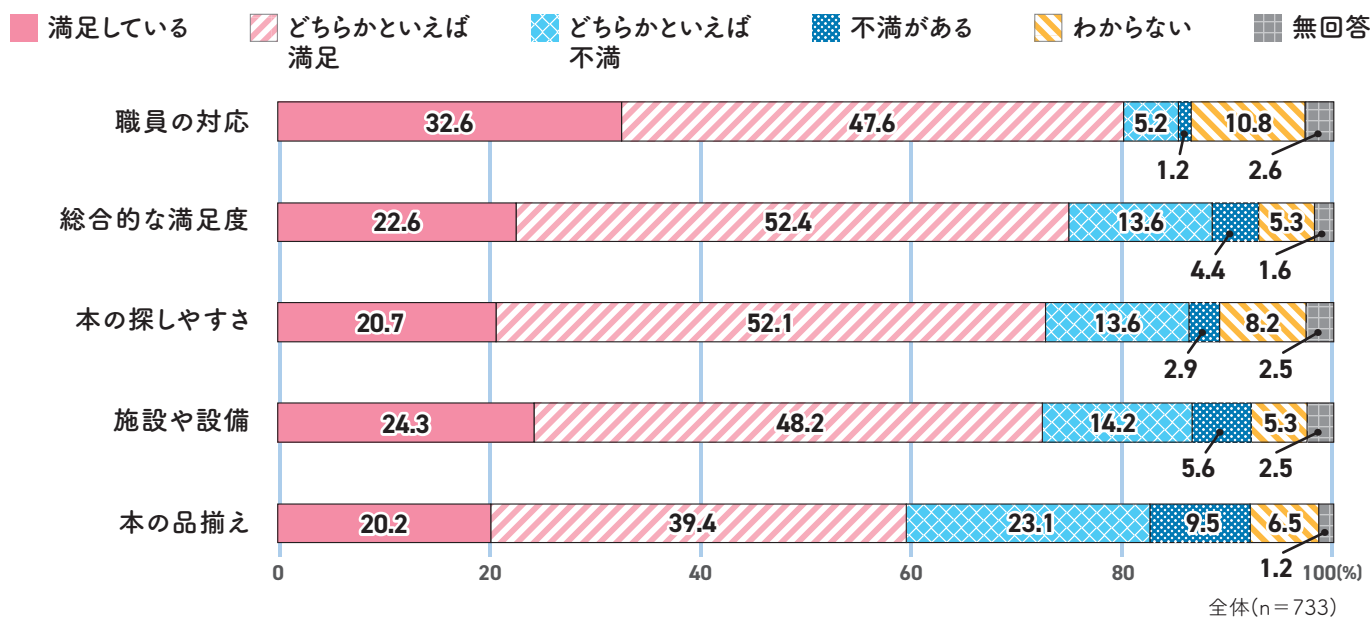
全体(N=2,300)



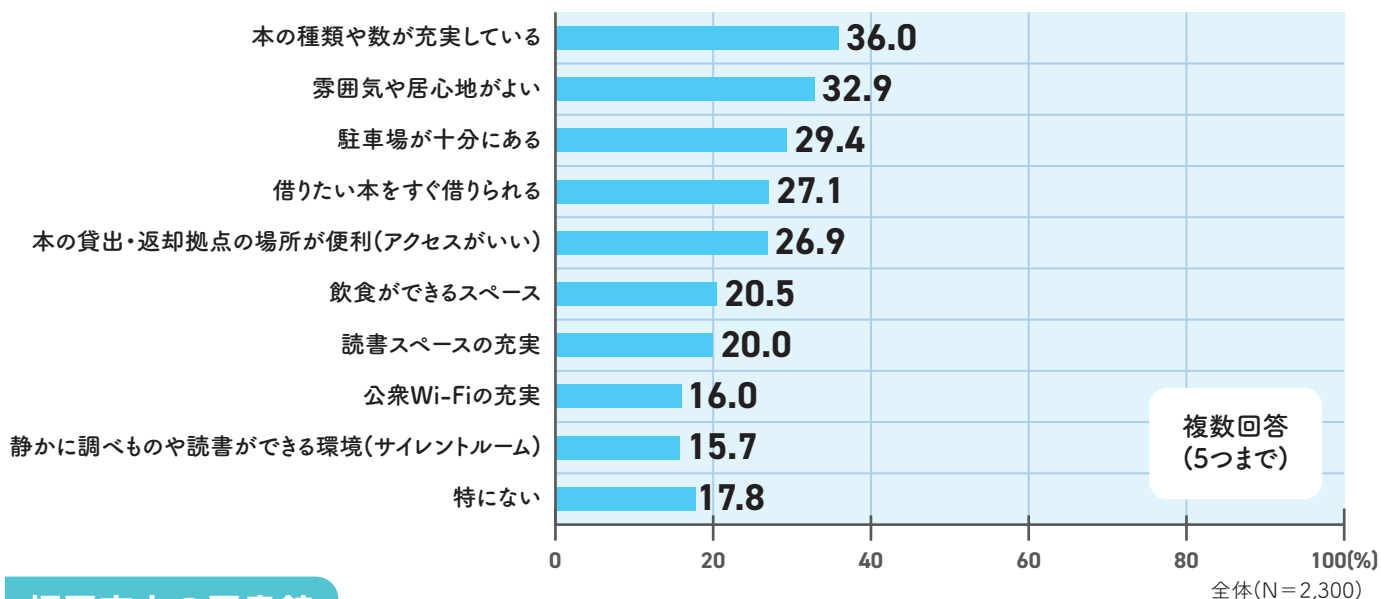
※2 電子書籍サービス
 インターネットを通じてお持ちのパソコンやタブレット、スマートフォン等から電子書籍を無料で借りて読むことができる「福岡市電子図書館」を開設しています。

※3 デジタル貸出カード
 プッシュ型で様々なサービスを提供する福岡市公式ポータルサイト「ふくおかサポート」で、マイナンバーカードを認証し、図書貸出カードを登録すると、デジタル貸出カードが利用できます。

最も利用する図書館について、どの程度満足していますか？ もしくは不満がありますか？



図書館をより魅力的にするためには、どのようなサービスや設備の充実が必要だと思いますか？(上位10位)



福岡市立の図書館

福岡市には総合図書館と11の分館があり、全ての蔵書をどの図書館でも簡単な予約で受け取ることができます。

平成8(1996)年6月に開館した総合図書館は、図書資料部門、文書資料部門及び映像資料部門の3部門で構成され、映像ホール・シネラ、文学館などを併設した広々としたくつろぎの空間が特徴です。

令和6年10月には、図書館システムが新しくなり、自宅からでも本を選びやすくなりました。



総合図書館外観



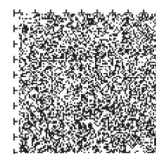
おはなし会の様子

お問い合わせ先

教育委員会 総合図書館運営課

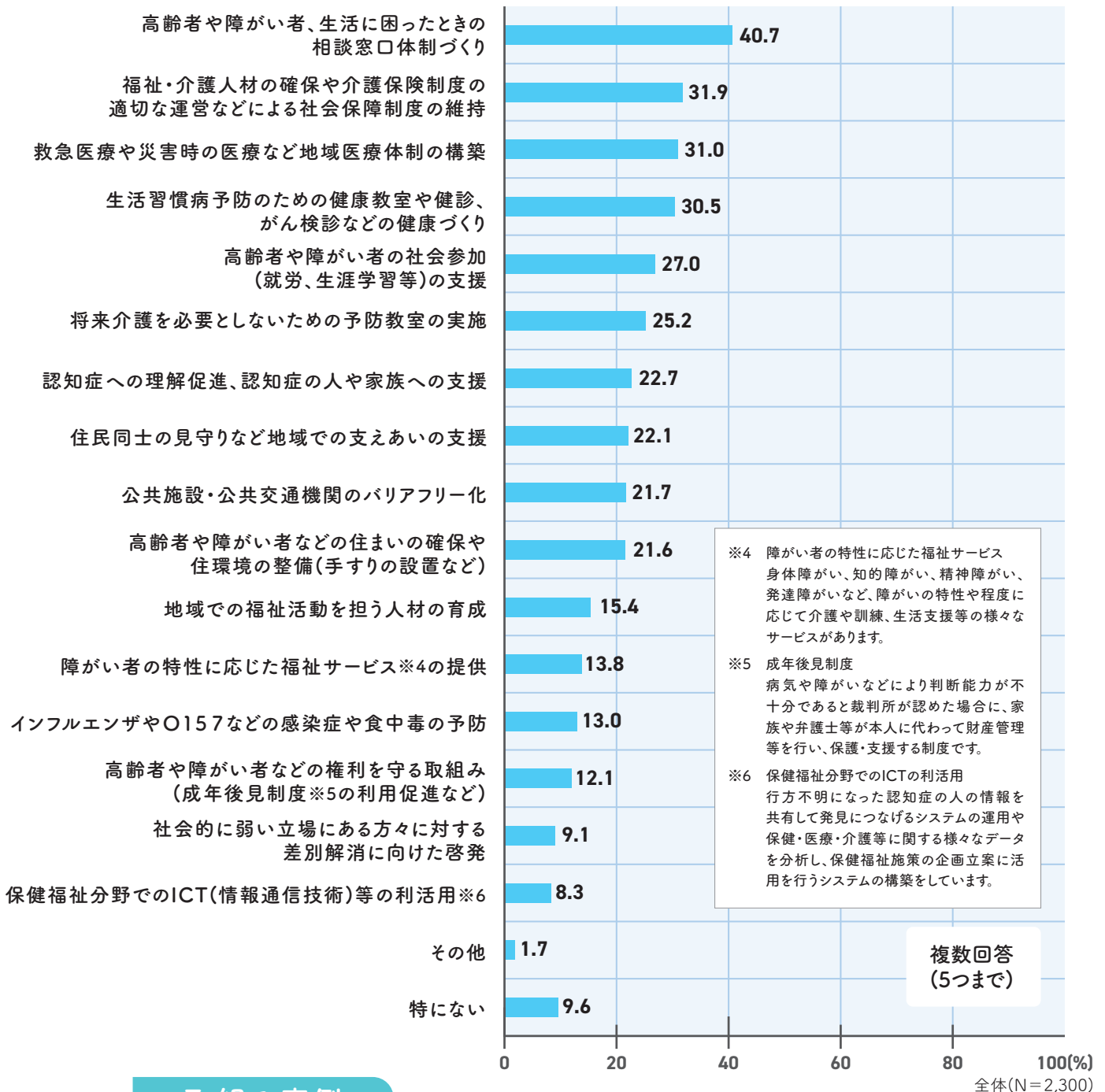
TEL:092-852-0619 FAX:092-852-0609

E-mail:library-unei.BES@city.fukuoka.lg.jp



福岡市の保健福祉について

福岡市の保健福祉施策の中で、関心がある内容は何か？



取組み事例

地域分野

地域住民同士の見守り活動を支援したり、閉じこもりがちな高齢者や障がいのある人などが参加して、レクリエーションなどを行う「ふれあいサロン」を行っています。



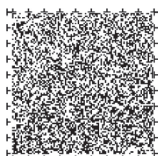
孤立防止や健康づくりのための「ふれあいサロン」▲

健康・医療分野

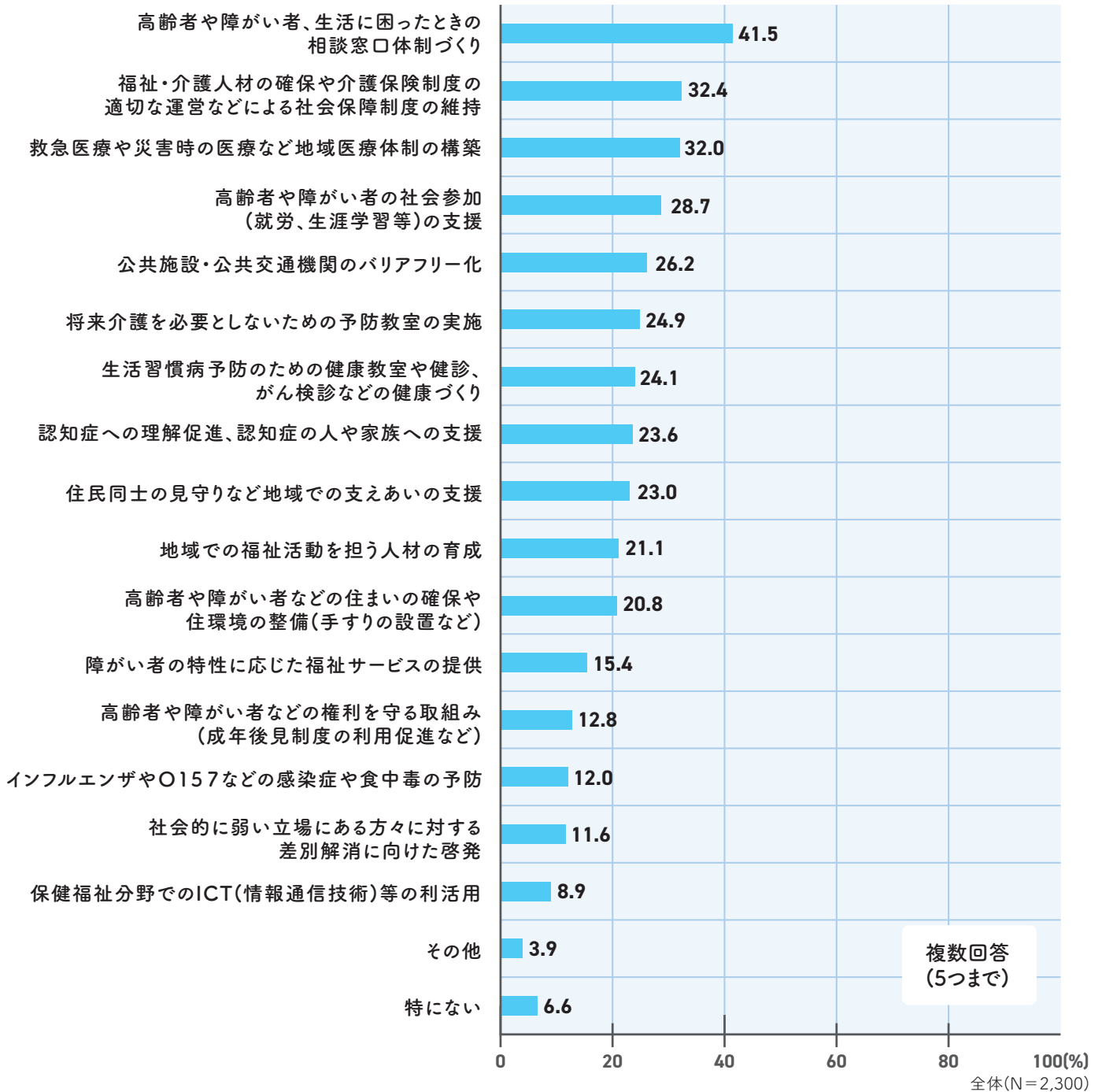
生活習慣病予防のための健診や、加齢や病気によって心身の機能が低下する「フレイル」やその予防方法を学ぶ教室など、市民の健康づくりのための取り組みを行っています。



フレイル予防教室▲



今後福岡市が力を入れていくべきと思うことは何ですか？



高齢者分野

認知症の人や家族が集う「認知症カフェ」の開催など、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまちづくりを推進しています。



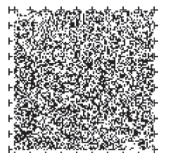
地域住民も参加する「認知症カフェ」▲

障がい者分野

障がいのある人が住み慣れた地域や家庭で安心して生活できるように各種相談窓口の設置や福祉サービスの提供体制の確保を行っています。



障がい者就労支援センターでの就労相談▲



福岡市では、人生100年時代の到来を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる、持続可能な社会を目指すプロジェクト「福岡100」に取り組んでいます。



「福岡100」のロゴ

取組み事例

オーラルケア28 プロジェクト

世代の特性に応じ、予防に重点を置いた歯と口の健康づくり



認知症フレンドリーシティ・プロジェクト

認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」講座



終活応援事業

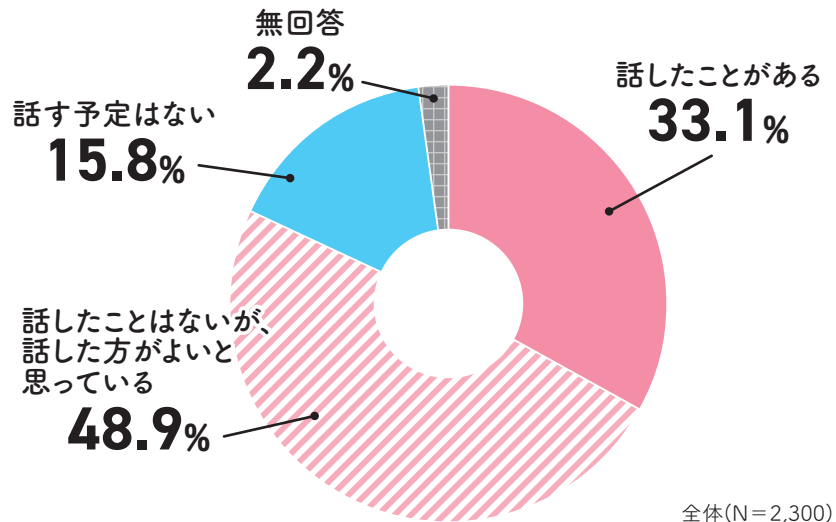
エンディングノートの配布



あなたは、家族と終活※7について話したことがありますか？

※7 終活

人生の最終段階においても自分らしく暮らし続けられるよう、介護や治療、身の回りの整理などについて元気なうちに考え、家族やかかりつけ医など周囲の人としっかり話すなどの準備をすることです。



お問い合わせ先

福祉局 政策推進課

TEL:092-711-4812 FAX:092-733-5587 E-mail:seisaku.PWB@city.fukuoka.lg.jp

～令和6年度 市政に関する意識調査～

福岡市は、市政に関する市民の皆さんのご意見や評価を科学的・統計的に把握し、市政推進上の基礎資料とするため、昭和51(1976)年度から「市政に関する意識調査」を実施しています。

詳細については、福岡市ホームページに掲載します。

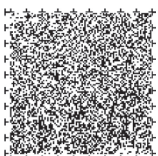
福岡市 意識調査

調査地域 …… 福岡市全域
 調査対象者 …… 福岡市内に居住する満18歳以上の市民
 標本数 …… 4,500サンプル
 抽出方法 …… 住民基本台帳による無作為抽出法
 調査方法 …… 郵送法(回答は郵送又はインターネット)
 調査期間 …… 令和6年6月21日～7月12日
 回収数(率) …… 2,300サンプル(51.1%)

※回答は、回答者数を基数とした百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。

※複数選択ができる設問では、回答率が100%を超えることがあります。

※数表、図表、文中に示すN、nは、比率算出上の基数(標本数)です。
 N=標本全数 n=該当数(その質問を回答しなくてよい人を除いた数)



《編集・発行／調査主体》 福岡市 市長室 広聴課

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1

TEL:092-711-4067 FAX:092-733-5580 E-mail:kocho.MO@city.fukuoka.lg.jp 令和6年11月発行